

# 錦江に生きる

じゅうはちにん目

たぬき  
ことみ  
田貫 琴美さん

(本町自治会)



▲子どもたちの視線から指導をする琴美さん

▼ただいま、読み聞かせ中



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていきこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。  
第18回目は、本町自治会の田貫琴美さんです。

職業「書道家」。錦江町内を中心に書道教室を開いている田貫琴美さんは文部科学省が認定している唯一の師範免許取得者。鹿児島では実に10年ぶりの合格者と言っぐらうの超難関試験である。

琴美さんの教室を訪ねると、子どもたちに絵本を読んで聞かせていた。琴美さん曰く「書道の道を選んだのも心のある教育に携わるため、私の書道教室は子どもたちを育てていく場所、だから素晴らしい本なども読んで聞かせています。」と、強い信念を感じた。

書の道のエリート街道を歩んでいるように見える琴美さん、実は挫折を味わっている。教育関係の道に進んだが多忙のため体調を崩し退職を余儀なくされた。しかし、頑張り屋の琴美さんは30歳を超えて「このままでは終わらない。何か打ち込めるものを」とおじにあたる田貫独心先生に師事し、7年間毎日5時間以上の修行を積み、平成19年に先述の師範免許を取得した。「辛くて負けそうになったこともあったが書の深さを、書の心をもっと極めたい。子どもたちに伝えたい一心で頑張りました。」と感慨深そうに語った。

琴美さんに、趣味を尋ねると照れくさそうに「絵本が大好きなんです。宮崎県の絵本の郷にも何度も足を運ぶくらい。書道の題材に絵本やわらべ歌を使うこともあるんですよ。」と。絵本の話をしている時の琴美さんは書道家としての真剣な顔ではなく少女のように屈託なく笑った。

将来の夢を尋ねると、「書道美術館を作りたい。子どもたちや書道をしている人たちが一生懸命書いた作品をみんなに見てもらいたい。そして見に来た人たちに芸術や文化に触れてもらいたい。そんな機会や場所を子どもたちに作ってあげたいんです。」と、続けて「私もまだまだ修業の身、書道をしている人たちと一緒に自分を高め、そして子どもたちには本物に出会える機会や場所も作っていききたい。」と華やかな体からは想像もつかないほど力強く話した。琴美さんは子どもが大好きな美に誠実な女性だった。

錦江町

## おもいで写真館

昭和32年  
田代中学校と人文字  
提供 右田 正さん(東中郡自治会)



### ▶写真のご協力を お願いします。◀

「錦江町思ひ出写真館」に掲載する写真を募集します。

撮影時期・場所・状況等を付けて、役場企画課へ持ち込むか郵送ください。

お借りした写真は責任を持ってお返しします。